

関西広域連合構成府県・市政記者クラブ配布

資料提供			
月日	発表者	問合せ先	
		電話番号	担当者
平成27年11月30日（月） 午後4時	関西広域連合本部事務局企画課	06-4803-5587	早田・大宅

関西広域連合設立5周年を迎えて

関西広域連合が平成27年12月1日で設立5周年を迎えるにあたり、本日、別添のとおり
関西広域連合長のコメントを発表しました。

関西広域連合設立5周年を迎えて

関西の復権と創造をめざし、「地方分権改革の実現」、「関西における広域行政の展開」、「国からの事務権限の移譲の受け皿づくり」を掲げ、平成22年12月に設立した関西広域連合は5年を迎えました。

この間、関西全体の防災減災プラン、カウンターパート方式による東日本大震災への支援、ドクターヘリの共同運行など、個々の自治体では対応できない広域行政事務への対応について着実に歩みを進めてきました。

そして、設立当初からの懸案の一つであった奈良県の加入が実現することになり、これで名実ともに関西が一丸となる体制が整います。

今こそ、「関西は一つ一つ」という多様性を活かしながら「関西は一つ」であるとの理念のもと、関西版総合戦略の策定・推進、広域事務のあり方や関西の司令塔機能としてのあり方など、次の5年間に向けた取組を進めることが必要です。

また、北陸新幹線やリニアについての大阪乗り入れの実現、防災など広域事務のさらなる協力、国からの権限移譲など着実に進めていかなければなりません。

こうした取組を通じて、責任ある広域行政主体として役割を果たし、より存在感を発揮し、活力ある関西づくりを進めてまいります。

平成27年12月1日

関西広域連合長(兵庫県知事)

井戸 敏三